

## トピックス

### 働き方改革の推進

当社は女性活躍推進企業認定として、「えるぼし」の認定3段階目（最高位）を受けるとともに、この度「仕事と生活の調和」実現推進に取り組み、ひょうご仕事と生活センターより「仕事と生活のバランス企業表彰」を受賞いたしました。

仕事と生活の調和推進に取り組むことで、従業員の仕事に対する能力や意欲を高め、優秀な人材の確保と従業員の定着を図り、業務効率の向上につなげてまいります。

引き続き働き方改革を実現し、更なる業績向上に努めてまいります。

## 会社概況

(2019年9月30日現在)

商号 三相電機株式会社  
設立 昭和32年10月11日  
資本金 878,679,800円  
従業員数 609名（連結）  
事業内容 小型モータおよび小型電動ポンプの製造・販売、金型の製造・販売

## 株式の状況

(2019年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数	18,000,000株
発行済株式の総数	4,589,800株
株主数	701名
1単元の株式の数	100株

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月開催  
基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当 毎年3月31日  
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】  
証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、下記電話照会先までご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関  
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所  
大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) (0120)782-031  
(URL) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告の方法 当社のホームページに掲載いたします。  
<http://www.sanso-elec.co.jp/ir/koukoku/>

上場証券取引所 東京証券取引所

この報告書は、当社第63期中間の状況をお知らせするものであり、株主総会の招集や配当金のお支払いをお知らせするものではありませんので、ご了承願います。

## 株主のみなさまへ

# 第63期中間 株主通信

2019年4月1日～2019年9月30日



代表取締役社長 黒田直樹

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに2019年度（2019年4月1日から2019年9月30日まで）の営業の概況につきましてご報告申し上げます。

今後とも変わらないご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2019年11月

 三相電機株式会社

証券コード 6518

## 営業の概況

### 業績の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益は一進一退を繰り返しながらも高水準を維持し、個人消費も雇用所得環境の改善が持続しており、天候要因による一時的な下振れはあったものの、緩やかな回復傾向が続いております。一方、米中貿易摩擦やイギリスのEU離脱交渉、中国経済の減速など外部環境の改善は見られず、世界経済の先行きに対する不透明感は続いております。

当社グループにおいては、米中貿易摩擦や輸出制限などの政策が半導体業界の大きなリスク要因であるものの、半導体需要はIT需要の底入れを受け、半導体製造装置用ポンプの一部商品で受注は回復傾向が見受けられるものの力強さには欠けております。

また、産業機械用モータでは、製造業の能力増強投資や人手不足を背景とした省力化・合理化に向けた投資マインドは底堅く推移しているものの、海外経済の減速など先行きへの不透明感が高まり、受注も減速傾向が見込まれます。

中国市場においては、米中貿易摩擦の長期化を受けて中国経済の下押し圧力は見られるものの、当社グループへの影響は限定的でモータ・ポンプともに受注は堅調に推移してまいりました。しかしながら価格競争は依然として厳しい状態が続いており、引き続き利益確保に向けて、新規顧客や新市場開拓に取り組んでおります。

また、国内外ともに原価が高騰する厳しい環境ではありますが、生産性向上や原価低減を押し進

めるとともに、経費削減に取り組むことで、業績向上に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は70億31百万円（前年同期比86.6%）となりました。

営業利益は1億64百万円（前年同期比29.2%）、経常利益は1億97百万円（前年同期比33.9%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億30百万円（前年同期比32.4%）となりました。

### 今後の取り組み

当社グループを取り巻く環境は、市場の動向に合わせた生産対応や、環境問題からくる省エネ製品への要望が強まるなど、企業として柔軟な納期対応や、環境に適合した製品開発の如何によって今後の経営成績が左右されるものと考えられます。

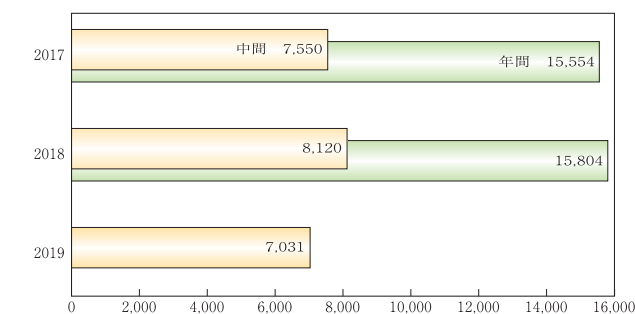
このような状況下において、産業分野で広く使用される三相誘導モータは、高効率IE3モータに続き、さらに高効率化が進められ、IE4、IE5モータの製品開発が求められております。当社グループといたしましても、市場の優位性を築くためにも、実現に向けて取り組むとともに、IoT技術などの新たな取り組みをポンプ関係に採用し、新規の顧客獲得を図ってまいります。

また、海外市場にも販路を拡げ市場や顧客が求める以上の新製品を開発してまいります。一方で、国内外を問わず生産拠点の見直しや工法の改善などを実施し、生産効率を高めるとともに、短納期対応を進めてまいります。

## 連結業績の概要

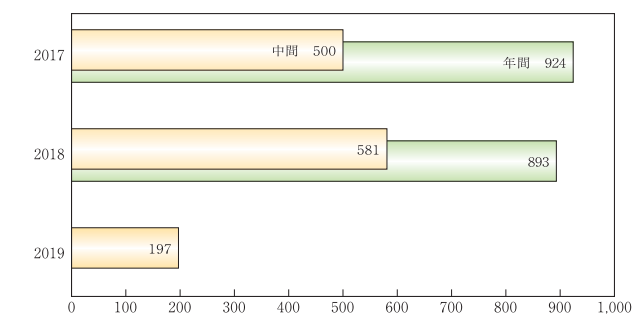
### 売上高

(単位：百万円)



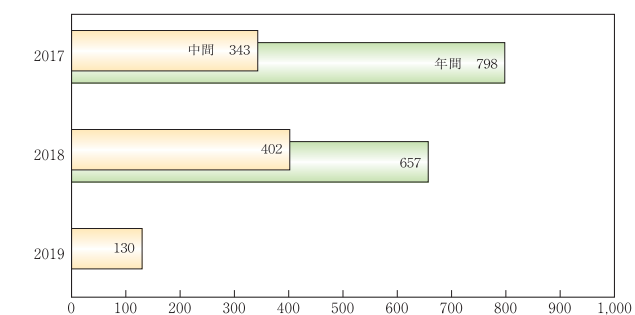
### 経常利益

(単位：百万円)



### 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



### 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	(2019年9月30日現在)
<b>資産の部</b>	
流動資産	9,467
固定資産	6,726
有形固定資産	4,996
無形固定資産	104
投資その他の資産	1,626
<b>資産合計</b>	<b>16,193</b>
<b>負債の部</b>	
流動負債	4,873
固定負債	2,477
<b>負債合計</b>	<b>7,350</b>
<b>純資産の部</b>	
株主資本	8,766
資本金	878
資本剰余金	1,832
利益剰余金	6,133
自己株式	△79
その他の包括利益累計額	76
<b>純資産合計</b>	<b>8,842</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>16,193</b>

### 要約連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	(自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	7,031
売上原価	5,701
売上総利益	1,330
販売費及び一般管理費	1,166
営業利益	164
営業外収益	42
営業外費用	9
経常利益	197
特別利益	-
特別損失	9
税金等調整前四半期純利益	187
法人税、住民税及び事業税	61
法人税等調整額	△4
親会社株主に帰属する四半期純利益	130